

第4回豊明市高齢者福祉計画策定・推進委員会 議事録

日時：令和2年12月16日（水）

午後2時～3時

場所：中央公民館

1 あいさつ

【健康福祉部長】

豊明市の新型コロナウイルス報告をする。集団感染や公共施設での感染はない。近隣と比較しても人口規模から陽性になれる方は少ない。これまで61名陽性であるが、近隣市町と比べ少ない。市民も感染予防に努めていると感じている。経路不明の感染、家族内の感染が出ており市中に高まっている。マスクをしてもうつさない行動をしよう、自分が感染しているかもしれないという行動をとろうと職員の中でも警戒感を高めているという状況である。

本会議では、事前にお示しした素案に対し、委員に意見を賜りたい。2025年、2040年の高齢者のピークに地域特性に活かし、向かい合っていく取り組みかと思ひ、温かいご意見を頂けたらと思う。

【委員長】

8期の計画策定は2021～2023年の3年間では、大きな問題が横たわっている。

2025年団塊世代の人が高齢者となり、2040年は団塊世代の子が高齢者となる。高齢者が増えるが若い人がいないという問題になる。2025年、2040年を見通しながら検討しなければならない。

2 議題

(1) 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案について（資料1・2）

ア 総論について以下の通り説明した。

1-1～1-5 策定にあたって

本計画の趣旨等

2025年と2040年を見据えて計画を策定すること、地域共生社会の実現に向けた計画策定をすることを記述している。また、計画については1年間に2回評価し、ホームページで公開している。

2-1、2-2 計画策定の課題

人口ピラミッド、要介護認定者、認知症高齢者数推計等

3-1 計画の基本理念と3つの目標

基本理念は「ふつうに暮らせるしあわせ」であり、第7期からの引継ぎ理念である。

第6期（平成27年）に作成したものは65歳以上の高齢者の介護予防で

あったが、第8期は75歳以上、85歳以上を意識した記載となった。

3-2 計画の体系

基本目標1（健康寿命を延伸する）・2（療養支援を強化する）・3（地域でふつうに暮らせるしくみを強化する）の詳細

3-3 本市の地域包括ケアの考え方（地域包括ケア豊明モデル）

地域包括ケア豊明モデルについて

3-4 日常生活圏域の設定

日常生活圏域の設定で、中部圏域に前後町が移動することを含め、地域包括支援センター運営方針や地域の特性

地域密着型サービスの整備目標

3-5 自立支援・重度化予防の目標設定

認知症の大綱に基づく数値等

イ 各論について以下の通り説明した。

ロジックモデルにて仮説をたて確認を行う

○基本目標1 健康寿命を延伸する

ロジックモデルを説明した。施策計画し、モニタリングし確認を行っていく。仮説を立て修正し遂行する。

1-1 自立支援・重度化予防の推進

○基本目標2 療養支援を強化する

2-1 在宅療養を支える多様な医療・介護サービスの充実

○基本目標3 地域でふつうに暮らせるしくみを強化する

3-1 日常生活圏の特性を活かした地域密着のまちづくりの推進

認知症の人の困りごとを本人から把握、高齢者の意思決定支援

3-4

地域包括ケアシステムを支える業務体制の確保

自然災害・感染症対応の強化

次回、介護サービス事業量・事業費の見込みについて示す。

<ご意見・質疑応答>

委員長：高齢社会対策大綱でも健康寿命延伸が記載ある。

健康寿命とは、「日常生活を制限されることなく過ごせる期間」である。

委員：介護経験より、市外から転入してくると地域とのつながりが弱く情報得られない。療養支援では、国が定めるサービスとの関係性もあると思うが、福祉用具のレンタル、購入などについて豊明市オリジナルのサービスがあると助かるのではないかと感じた。経験すると、必要なことが見えてくる。

委員：認知症サポーターは現在何人か。

事務局：令和元年度の認知症サポーター8533人であり、令和2年度約8600人である。目標はサポーターが1万人となるよう、認知症の理解者を増やし、地域全体で支えていくことを進める。

委員：コロナの影響についてはいかがか。

事務局：給付全体と保険料の変化は今後反映となる。施設併設型の通所サービスも現在感染予防を行いながら実施している。まちかど運動教室も感染予防策を講じながら再開できている。

(2) 第8期計画策定スケジュールについて（資料3）

第4回以降のスケジュールについて説明した。

令和2年12月25日経営戦略会議を経て、パブリックコメントを1か月間行う。令和3年2月地域密着サービス部会を開催する。第5回策定推進委員会にて第8期計画・介護保険料の最終案を提示する。

(3) その他

これからは、コロナによる影響、認知症の問題といったものが横たわっている。地域資源など情報について機関同士が情報提供していき、いろいろな情報を必要な人が知り、活用できるようにすることが大事である。

3 出席委員 11名

4 傍聴者 1名

問い合わせ先 健康長寿課 介護保険係
電話 0562-92-1261